

文教厚生常任委員会

委員長…川上茂次 副委員長…平石博徳
委員…田島輝美、松崎義昭、山崎一洋、山田能新

文教厚生常任委員会

委員会開催日 6月23日

(文責・川上茂次委員長)

未来創造館と愛称について

議案第73号「平戸市病院事業の設置等に関する条例の一
部改正について」に關し、平戸市民病院に新設される『救急科』にどのようなメリットがあるのかとの質問に対し、医師が着任し、総合的な視野で救急・外来患者に対応できるようになつたため、他の医師への負担、特に通常の診察に専念できる体制を確保できるようになることが最大のメリットであるとの答弁があつた。

また、財政面で新たな負担が生じないのかとの質問に対し、特に新たな器材を整えることなく対応するので問題ないとの答弁があつた。

救急科が新設されることは、今以上に救急患者に対し的確な対応が図られ、地域住民の安心にもつながることから、今後もこの環境を長く維持できるよう病院局に要望した。

（【】は所管課名）

今回、本委員会に付託を受けました案件は、承認1件、議案12件、請願1件で、審査の結果、原案のとおり承認、可決、採択しました。

ここでは、特に審査の中で出された意見、要望などをお知らせします。

（【】は所管課名）

がん検診を受けましょう！

承認1号のうち専決第4号「平成26年度平戸市一般会計補正予算（第9号）」中、「がん検診推進事業に関し、70万円の減額補正是受診者数の減少が大きな要因と考えられるが、今後どう改善していくのかとの質問に対し、がん検診キヤンペーン月間の取り組み強化およびピンクリボン運動を進める団体等との連携を深めることにより受診者を増加させたいとの答弁があつた。

一方、8月1日の開館の際に発表される「愛称」を含め、市民の立場からすると『図書館』、あるいは『公民館』であるとか呼び方が多々あつて混乱するのではないかとの質問に対し、今の北部公民館についても『離島開発総合センター』と呼ばれるなど紛らわしさがあつた。

よつて、未来創造館については愛称とセットにして一本化して通知等を行い、市民に周知を図りたいとの答弁があつた。

医師不足は長らく本市の課題であり、その中で先に述べた医師が着任したことによりどのように考えているのか。

5月11日に県内外の司書約70人の協力を得て運び込まれ、新たに購入された約4万5千冊の図書がまだ雑然とすると中であつたが視察を行なつた。

1階の図書スペースは開架室、開架書庫、談話室、録音室そして子ども向けコーナー等これまでにない空間と蔵書になることが容易に分かつた。新図書館内から眺める雄大な景色は、近くは波静かな平戸港から崎方遠見公園、潮流渦巻く雷ヶ瀬戸と浮かぶ黒子島や対岸の焼罪史蹟、平戸大橋に、遠くは馬渡島等が眺望

でき、開館が待ち遠しく感じられた。

あわせて2階の公民館スペースの視察を行なつたが、調査委員による選考委員会において優秀作品を最終決定し、落成式の際に発表される予定になつたものと感じた。

新施設の愛称募集についての報告では、市内外から16件の応募があり、8人の審査委員による選考委員会において優秀作品を最終決定し、落成式の際に発表される予定のことであった。

これまで多くの議論を重ねた市民待望の施設であり、最後まで万全の準備で臨むよう要望した。

◆閉会中の所管事務調査◆

「（仮称）総合情報センター開館に向けての方向性について」

（文責・川上茂次委員長）
調査日 5月15日

【病院局】



▲新設された救急科と救急専門医の鮫島志郎医師

○少子化における小中学校の今後の推計予測と在り方について ○エネルギー政策について ○AEDの設置状況と今後の計画について



大久保堅太議員

合併後10年がたち、これまでの児童生徒数の推移と複式学級の現状を尋ねる。

○人口減少抑制対策について ○平戸市すつと住みたいまち創出条例について



神田 全記議員

人口減少を食い止めるためには、企業誘致を期待する。すると同時に、平戸の産業を守り育てることで、地域や集落を守る若者が増え、人口増加

○人口減少抑制対策について ○平戸市すつと住みたいまち創出条例について

【市長】本市における人口減少対策は喫緊の課題である。これまで人口減少抑制強化宣言を出し、対策本部設置、施策の検討を行なつてきた。今後推していくには、市民、行政、議会の共通理解が重要であることから、条例を制定して方向性を明確にした。

【教育長】合併当時2千500人程であった小学生は1千500人程に、中学生は1千500人から900人程に減少しており、合併当時の6割の児童生徒数になつている。現在、小学校17校と中学校9校があり、うち複式学級のある小学校は9校で完全複式学校が2校である。

【教育長】学校の適正規模に向けての方針策定の中に行方針を定めたい。今年度中に方針を定めたい。

【問】統廃合の話の前に、まずは現状と今後の推移・展望を市民全體で共有する必要があるのではないか。

【教育長】特定の地域だけではなく、全市的に市民雇用の促進について、企業誘致の進捗と今後はどうか。

【問】地の適地調査を実施し、適地があれば整備に移つていく予定。現在、製造業者を2社に絞り重点的に誘致活動を行なっている。

【答】子育て支援、子育てしやすい環境にどう取り組む

【市民福祉部長】子育て世帯の流出を抑制し、出生数の増加を目指し立てている。子育て世代の経済的負担の軽減が大事であり、今後は具体的な数値目標を定め、各施策に取り組む。

【問】町の活気を取り戻すための定住移住促進対策について。

【答】【総務部長】新築および中古住宅の取得等に係る経費の一部を補助する制度を創出した。また、空き家バンクを設置し、情報提供をして定住促進につなげたい。

【産業振興部長】工業団地の適地調査を実施し、地の適地が整備に移つていく予定。現在、製造業者を2社に絞り重点的に誘致活動を行なっている。

【答】【総務部長】確かに常時利用できる状態にする必要があります。設置場所も距離の問題があるのも事実である。近隣市町村を参考にし、また平戸防災ネットワークと連携を図りながら検討し必要施設に設置する方向で考える。

【問】地域農業を支える担い手、農業人口の確保が重要な問題である。地域農業を支える担い手、農業人口の確保が重要な問題である。設置が必要だ。本会議に平戸式もうかる農業実現支援事業として予算計上した。

【答】【産業振興部長】確かに農業人口の確保が重要な問題である。設置が必要だ。本会議に平戸式もうかる農業実現支援事業として予算計上した。

【問】産地力の強化、農業所得の向上に取り組んでいく。

【答】【産業振興部長】支援を積極的に展開し、一人でも多くの新規就農者を確保し、産地力の強化、農業所得の向上に取り組んでいく。

【問】人口減少を食い止めるためには、企業誘致を期待する。すると同時に、平戸の産業を守り育てることで、地域や集落を守る若者が増え、人口増加

【答】【市長】本市における人口減少対策は喫緊の課題である。これまで人口減少抑制強化宣言を出し、対策本部設置、施策の検討を行なつてきた。今後推していくには、市民、行政、議会の共通理解が重要であることから、条例を制定して方向性を明確にした。

【問】今後も多くの市民の意見と住民レベルでの意識改革を踏まえ、人口減少抑制対策に取り組む。雇用の促進について、企業誘致の進捗と今後はどうか。

【答】【教育長】学校の在り方についてどのように考えているのか。

【問】この右記条例の基本的な考え方等を聞く。

【答】【市長】本市における人口減少対策は喫緊の課題である。これまでも人口減少抑制強化宣言を出し、対策本部設置、施策の検討を行なつてきた。今後推していくには、市民、行政、議会の共通理解が重要であることから、条例を制定して方向性を明確にした。

【問】今後も多くの市民の意見と住民レベルでの意識改革を踏まえ、人口減少抑制対策に取り組む。雇用の促進について、企業誘致の進捗と今後はどうか。

【答】【教育長】学校の在り方についてどのように考えているのか



辻 賢治議員

問 昨年6月議会で世界遺産登録を見据え、構成資産を軸とした新たな観光戦略を構築し、他の地域に引けをとらない魅力ある観光メニューを作る

答 「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の登録を見据えた新たな観光戦略について

問 登録を見据え、構成資産について、具体的な事業展開を行なつていかなければならぬ時期に来ていることは十分認識している。

答 【文化観光部長】受け入れに関するさまざまな課題について、具体的な事業展開を行なつていかなければならぬ時期に来ていることは十分認識している。



山田 能新議員

問 食や自然景観を生かした観光メニューを作成するとの答弁がない。経過、概要など具体的な説明を求める。

答 【文化観光部長】受け入れに関するさまざまな課題について、具体的な事業展開を行なつていかなければならぬ時期に来ていることは十分認識している。

問 月（昨年）にすべきとの質問に、部長は同じ認識でよいと答弁している。構成資産と從来の観光名所を融合させた魅力ある観光コース設定をお願いしながら、どうなつてているのか。

答 【文化観光部長】民間の協力により、今後の事業に有益な福岡・平戸間のバス往復割引切符が実現した。ビートルは、世界遺産登録に向けた外地域活性化万策の一つであると考えられるので、地域版総合戦略の中で検討する。



綾香 良一議員

問 今後の方向性について尋ねる。

答 【市長】平成28年世界遺産登録を目指し、今年9月（昨年）にすべきとの質問に、部長は同じ認識でよいと答弁している。構成資産と從来の観光名所を融合させた魅力ある観光コース設定をお願いしながら、どうなつてているのか。

問 将来の平戸に欠かせない移動手段の確保は重要。周遊定期観光バスも再検討する。

答 【文化観光部長】民間の協力により、今後の事業に有益な福岡・平戸間のバス往復割引切符が実現した。ビートルは、世界遺産登録に向けた外地域活性化万策の一つであると考えられるので、地域版総合戦略の中で検討する。



近藤 芳人議員

問 一方で地方消費が都心に吸い上げられる「影」を経験した。西九州道の延伸や本年度実現する

答 【市長】本年度、民設民営方式で整備を推進している光回線は、平戸中学校区工場が7月から申込み受付け開始、8月以降に利用できる見込み。それ以外は2月の予定。

問 整備対象外の地区でも利用を待ち望む声が多い。

答 【総務部長】取り組みた事業側が整備に前向きになるよう積極的に働きかけたい。広報紙等での周知のほか、通信業者と連携して、タブレット端末の操作研修や有益な情報共有の仕組み作り等に取り組みたい。



辻 賢治議員

問 一方で地方消費が都心に吸い上げられる「影」を経験した。西九州道の延伸や本年度実現する

答 【総務部長】取り組みた事業側が整備に前向きになるよう積極的に働きかけたい。広報紙等での周知のほか、通信業者と連携して、タブレット端末の操作研修や有益な情報共有の仕組み作り等に取り組みたい。

問 ついで、平戸、生月大橋の開通／無料化により劇的に交通が便利になり、都心から人、資本が流入する「光」と、一方で地方消費が都心に吸い上げられる「影」を経験した。西九州道の延伸や本年度実現する

答 【総務部長】取り組みた事業側が整備に前向きになるよう積極的に働きかけたい。広報紙等での周知のほか、通信業者と連携して、タブレット端末の操作研修や有益な情報共有の仕組み作り等に取り組みたい。



辻 賢治議員

問 一方で地方消費が都心に吸い上げられる「影」を経験した。西九州道の延伸や本年度実現する

答 【総務部長】取り組みた事業側が整備に前向きになるよう積極的に働きかけたい。広報紙等での周知のほか、通信業者と連携して、タブレット端末の操作研修や有益な情報共有の仕組み作り等に取り組みたい。

問 ついで、平戸、生月大橋の開通／無料化により劇的に交通が便利になり、都心から人、資本が流入する「光」と、一方で地方消費が都心に吸い上げられる「影」を経験した。西九州道の延伸や本年度実現する

答 【総務部長】取り組みた事業側が整備に前向きになるよう積極的に働きかけたい。広報紙等での周知のほか、通信業者と連携して、タブレット端末の操作研修や有益な情報共有の仕組み作り等に取り組みたい。



辻 賢治議員

問 一方で地方消費が都心に吸い上げられる「影」を経験した。西九州道の延伸や本年度実現する

答 【総務部長】取り組みた事業側が整備に前向きになるよう積極的に働きかけたい。広報紙等での周知のほか、通信業者と連携して、タブレット端末の操作研修や有益な情報共有の仕組み作り等に取り組みたい。

問 ついで、平戸、生月大橋の開通／無料化により劇的に交通が便利になり、都心から人、資本が流入する「光」と、一方で地方消費が都心に吸い上げられる「影」を経験した。西九州道の延伸や本年度実現する

答 【総務部長】取り組みた事業側が整備に前向きになるよう積極的に働きかけたい。広報紙等での周知のほか、通信業者と連携して、タブレット端末の操作研修や有益な情報共有の仕組み作り等に取り組みたい。



辻 賢治議員

問 一方で地方消費が都心に吸い上げられる「影」を経験した。西九州道の延伸や本年度実現する

答 【総務部長】取り組みた事業側が整備に前向きになるよう積極的に働きかけたい。広報紙等での周知のほか、通信業者と連携して、タブレット端末の操作研修や有益な情報共有の仕組み作り等に取り組みたい。

問 ついで、平戸、生月大橋の開通／無料化により劇的に交通が便利になり、都心から人、資本が流入する「光」と、一方で地方消費が都心に吸い上げられる「影」を経験した。西九州道の延伸や本年度実現する

答 【総務部長】取り組みた事業側が整備に前向きになるよう積極的に働きかけたい。広報紙等での周知のほか、通信業者と連携して、タブレット端末の操作研修や有益な情報共有の仕組み作り等に取り組みたい。



辻 賢治議員

問 一方で地方消費が都心に吸い上げられる「影」を経験した。西九州道の延伸や本年度実現する

答 【総務部長】取り組みた事業側が整備に前向きになるよう積極的に働きかけたい。広報紙等での周知のほか、通信業者と連携して、タブレット端末の操作研修や有益な情報共有の仕組み作り等に取り組みたい。

問 ついで、平戸、生月大橋の開通／無料化により劇的に交通が便利になり、都心から人、資本が流入する「光」と、一方で地方消費が都心に吸い上げられる「影」を経験した。西九州道の延伸や本年度実現する

答 【総務部長】取り組みた事業側が整備に前向きになるよう積極的に働きかけたい。広報紙等での周知のほか、通信業者と連携して、タブレット端末の操作研修や有益な情報共有の仕組み作り等に取り組みたい。



辻 賢治議員

問 一方で地方消費が都心に吸い上げられる「影」を経験した。西九州道の延伸や本年度実現する

答 【総務部長】取り組みた事業側が整備に前向きになるよう積極的に働きかけたい。広報紙等での周知のほか、通信業者と連携して、タブレット端末の操作研修や有益な情報共有の仕組み作り等に取り組みたい。

問 ついで、平戸、生月大橋の開通／無料化により劇的に交通が便利になり、都心から人、資本が流入する「光」と、一方で地方消費が都心に吸い上げられる「影」を経験した。西九州道の延伸や本年度実現する

答 【総務部長】取り組みた事業側が整備に前向きになるよう積極的に働きかけたい。広報紙等での周知のほか、通信業者と連携して、タブレット端末の操作研修や有益な情報共有の仕組み作り等に取り組みたい。



辻 賢治議員

問 一方で地方消費が都心に吸い上げられる「影」を経験した。西九州道の延伸や本年度実現する

答 【総務部長】取り組みた事業側が整備に前向きになるよう積極的に働きかけたい。広報紙等での周知のほか、通信業者と連携して、タブレット端末の操作研修や有益な情報共有の仕組み作り等に取り組みたい。

問 ついで、平戸、生月大橋の開通／無料化により劇的に交通が便利になり、都心から人、資本が流入する「光」と、一方で地方消費が都心に吸い上げられる「影」を経験した。西九州道の延伸や本年度実現する

答 【総務部長】取り組みた事業側が整備に前向きになるよう積極的に働きかけたい。広報紙等での周知のほか、通信業者と連携して、タブレット端末の操作研修や有益な情報共有の仕組み作り等に取り組みたい。



辻 賢治議員

問 一方で地方消費が都心に吸い上げられる「影」を経験した。西九州道の延伸や本年度実現する

答 【総務部長】取り組みた事業側が整備に前向きになるよう積極的に働きかけたい。広報紙等での周知のほか、通信業者と連携して、タブレット端末の操作研修や有益な情報共有の仕組み作り等に取り組みたい。

問 ついで、平戸、生月大橋の開通／無料化により劇的に交通が便利になり、都心から人、資本が流入する「光」と、一方で地方消費が都心に吸い上げられる「影」を経験した。西九州道の延伸や本年度実現する

答 【総務部長】取り組みた事業側が整備に前向きになるよう積極的に働きかけたい。広報紙等での周知のほか、通信業者と連携して、タブレット端末の操作研修や有益な情報共有の仕組み作り等に取り組みたい。



辻 賢治議員

問 一方で地方消費が都心に吸い上げられる「影」を経験した。西九州道の延伸や本年度実現する

答 【総務部長】取り組みた事業側が整備に前向きになるよう積極的に働きかけたい。広報紙等での周知のほか、通信業者と連携して、タブレット端末の操作研修や有益な情報共有の仕組み作り等に取り組みたい。

問 ついで、平戸、生月大橋の開通／無料化により劇的に交通が便利になり、都心から人、資本が流入する「光」と、一方で地方消費が都心に吸い上げられる「影」を経験した。西九州道の延伸や本年度実現する

答 【総務部長】取り組みた事業側が整備に前向きになるよう積極的に働きかけたい。広報紙等での周知のほか、通信業者と連携して、タブレット端末の操作研修や有益な情報共有の仕組み作り等に取り組みたい。



辻 賢治議員

問 一方で地方消費が都心に吸い上げられる「影」を経験した。西九州道の延伸や本年度実現する

答 【総務部長】取り組みた事業側が整備に前向きになるよう積極的に働きかけたい。広報紙等での周知のほか、通信業者と連携して、タブレット端末の操作研修や有益な情報共有の仕組み作り等に取り組みたい。

問 ついで、平戸、生月大橋の開通／無料化により劇的に交通が便利になり、都心から人、資本が流入する「光」と、一方で地方消費が都心に吸い上げられる「影」を経験した。西九州道の延伸や本年度実現する

答 【総務部長】取り組みた事業側が整備に前向きになるよう積極的に働きかけたい。広報紙等での周知のほか、通信業者と連携して、タブレット端末の操作研修や有益な情報共有の仕組み作り等に取り組みたい。



辻 賢治議員

問 一方で地方消費が都心に吸い上げられる「影」を経験した。西九州道の延伸や本年度実現する

答 【総務部長】取り組みた事業側が整備に前向きになるよう積極的に働きかけたい。広報紙等での周知のほか、通信業者と連携して、タブレット端末の操作研修や有益な情報共有の仕組み作り等に取り組みたい。

問 ついで、平戸、生月大橋の開通／無料化により劇的に交通が便利になり、都心から人、資本が流入する「光」と、一方で地方消費が都心に吸い上げられる「影」を経験した。



松尾 実議員

問 今年は戦後70年の節目の年であるが、今日の先輩を極められたのは、多くの先輩方の涙ぐましい努力と犠牲の上に成り立った社会である。高齢者を含めた社会問題について、介護、医療、予防の専門的なサービスと在宅医療・介護連携を推進し、地域支援事業に積極的に取り組んでいた社会である。

○第6期介護保険事業計画について

○地籍調査について

○郷土芸能の維持と継承について

者の方々には、しっかりとした福祉の充実であり、対応でなければならぬと思うがいかがか？

【市長】 介護保険事業計画では、高齢者が住み慣れた自宅や地域で安心して暮らしができるための総合的なまちづくりとして、介護、医療、予防の専門的なサービスと在宅医療・介護連携を推進し、

本市において高齢者を支える担い手の減少、特に介護施設の職員の確保など、非常に厳しい状況であるがいかがか？

【市民福祉部長】 社会福祉協議会と連携して、介護職員養成講座を平成25年度から開設し、福祉事業に関わる若者を育成している。

移動販売車（行商）は、お年寄りの見守りであり、買い物に行けない身体の不自由な方々や交通弱者の方々の需要

に応える立派な生活支援であると思うが、本市は、そうした買物に支障のある方々に対しての対応策をどのように考えているのか。

【市民福祉部長】 生活実態を調査する高齢者実態把握調査の中で買い物支援・交通手段などの調査を行なう。また、他市の条件も含めながら検討対応していく。

地籍調査は数十年かかると言っているが、調査方法の研究を行い、効率的な事業の早期完了が必要でないか。

少子高齢化や市外への流出による人口減少に伴い、境界を特定できる人が少なくなっている。今後、県の担当部局や民間の技術者と連携しながらスピードアップを図りたい。

郷土芸能の維持、継承においても少子高齢化の影響が顕著であると思うがいかが

か。

【文化観光部長】 今までの制約等の撤廃を含め、地元の団体の方々と十分協議する場を作り対応したい。

に占める割合が、合併当初の14.45%から3.65%増の18.1%まで伸びている。今後は介護を必要とする元気な高齢者の方々ができるだけ増やす事が大切と考えられる。

【建設部長】 国道横断の側溝についても現地を精査したい。

【産業振興部長】 本市と業者は10項目の安全協定書を締結したが地元の意見や要望を踏まえ、見直すこととしている。

【建設部長】 老朽空き家についても現地を精査したい。

【建設部長】 老朽空き家に対する問い合わせが、その概要について問う。ぜひ、実現に向けて取り組んでいただきたい。

【文化観光部長】 このシンポジウムは、電気学会、日本機械学会、応用物理学会の3つの学会が、垣根を越えて、同一期間、同一会場で毎年開催されている日本最大級の学術会議である。

【建設部長】 企業人や研究者が、研究の成果等の情報を共有し、新たな展開を模索するための交流の場であり、まさに我が国の最先端技術が集積されるものである。

【市民福祉部長】 今年4月1日より、平戸市空き家等の適正管理条例が施行される。

【文化観光部長】 例が制定された。その後の取り組み状況について尋ねる。

【建設部長】 に対し、これまでの助言、指導に加えて、勧告、命令、公表が可能となつた。平成26年度までに34軒の老朽危険空き家を把握している。

【建設部長】 今後、空き家の実態を把握するための市内全域の調査委託について準備を進めている。委託先が決まれば順次着手していく。

【文化観光部長】 例が制定された。その後の取り組み状況について尋ねる。

【建設部長】 に対し、これまでの助言、指導に加えて、勧告、命令、公表が可能となつた。平成26年度までに34軒の老朽危険空き家を把握している。

【建設部長】 今後、空き家の実態を把握するための市内全域の調査委託について準備を進めている。委託先が決まれば順次着手していく。